



健康だより

知って得する ピロリ菌情報

ピロリ菌とは!?

Helicobacter pylori(ピロリ菌)は、1983年にオーストラリア人のロビン・ウォレンとバリー・マーシャルによって発見された、らせん状の桿菌です。このピロリ菌は、胃酸を中和するウレアーゼという酵素を出すことで強酸性の胃の中で生きることができます。



ピロリ菌の感染経路は完全には解明されていませんが、感染は幼少時に起こり、慢性に持続し胃粘膜の慢性炎症を起こします。また、ピロリ菌が産生する毒素が胃がんの発症に関わるという研究結果も出てきています。

そして日本人の約半数がピロリ菌に感染しているというデータもあります。ただし、上下水道などの衛生環境が十分に整っていない時代に生まれ育った人ほど感染率が高く、50代以上では80%程度に対し、10~20代では20%前後と著しく低くなっています。

ピロリ菌が見つかったらどうしたら良いの?!



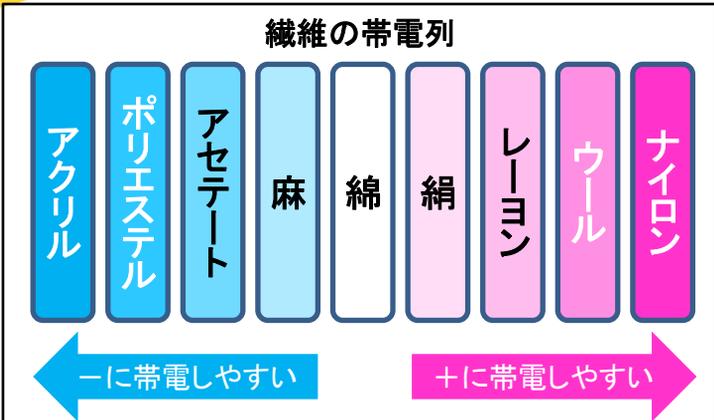
ピロリ菌の除菌治療は、胃酸分泌を抑えるプロトンポンプ阻害薬と、抗生剤のアモキシシリンとクラリスロマイシンを1週間同時に内服する、3剤併用療法が主流となっており、これらを正しく内服することが重要です。副作用については最も多いのが下痢や軟便で、そのほか味覚異常、口内炎、皮疹などがありますが、いずれも軽症な事がほとんどです。また、治療は必ずしも保険適応になるとは限りませんので治療を開始する前によく主治医から説明を受けてください。

いやなパチパチどう減らす 冬のイヤ～な静電気

冬になると私たちが困らせる静電気。車のドアに触れてビリッとなったり、服を脱ぐときにパチパチとなった経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

静電気は異なる物質がこすれあってたまり、その電気が流れてパチッと感じます。水分は電気を逃がすアースの役割をしますので、室内の湿度を50-60%くらいに保つようにしましょう。

また、衣類の組み合わせを一工夫することで静電気を起こしにくくすることができます。右図のように(+)と(-)が離れているほど帯電しやすくなりますので、距離の近い繊維を組み合わせてコーディネートすることがポイントです。今一度、お持ちのお洋服のタグをご確認ください！



※WORLDコーポレートサイトなどより

胃がんや萎縮性胃炎の原因と言われているピロリ菌。今回はピロリ菌について勉強してみましょう。

ピロリ菌の検査って!?



内視鏡を使わない方法と、使う方法の2通りに大きく分けられます。

《内視鏡を使わない方法》

- ◆血清抗体検査…血液中のピロリ抗体を調べます。
- ◆尿中抗原検査…尿中のピロリ抗原を調べます。
- ◆便中抗原検査…便中のピロリ抗原を調べます。
- ◆尿素呼吸試験…診断薬を服用し、服用前後の呼気を集めて診断します。

《内視鏡を使う方法》

- ◆組織培養法…胃の粘膜を採取してすりつぶし、それをピロリ菌の発育環境下で5~7日培養して判定します。
- ◆組織鏡検法…胃の粘膜の組織標本に特殊な染色をしてピロリ菌を顕微鏡で探す組織診断方法です。
- ◆迅速ウレアーゼ検査…ピロリ菌が持っているウレアーゼという、尿素を分解する酵素の活性を利用して調べる方法です。採取した粘膜を特殊な反応液に添加し、反応液の色の変化でピロリ菌の有無を判定します。

検査はどこで受けられるの?!



ピロリ菌の検査は消化器内科や健診センターなどで受けられます。事前にお問い合わせください。

また来年度、長大でも職員健診でピロリ菌の検査(ABC検診)を実施しようと計画中です。内容については後日、詳しくお伝えいたします。

